

## 新成人の喫煙アンケート調査より

1月12,13日、金沢市の成人式会場で平成最後の新成人の喫煙アンケート調査を行いました。今年度は金沢市内41会場の60小学校区で5093名が対象となるうち、1312名が対象する毎年と同様の15小学校区、7会場の出席者に対しアンケートを行いました。

平成22年の成人式で調査を始め、以後毎年成人式で調査を実施し今年で10年目となります。

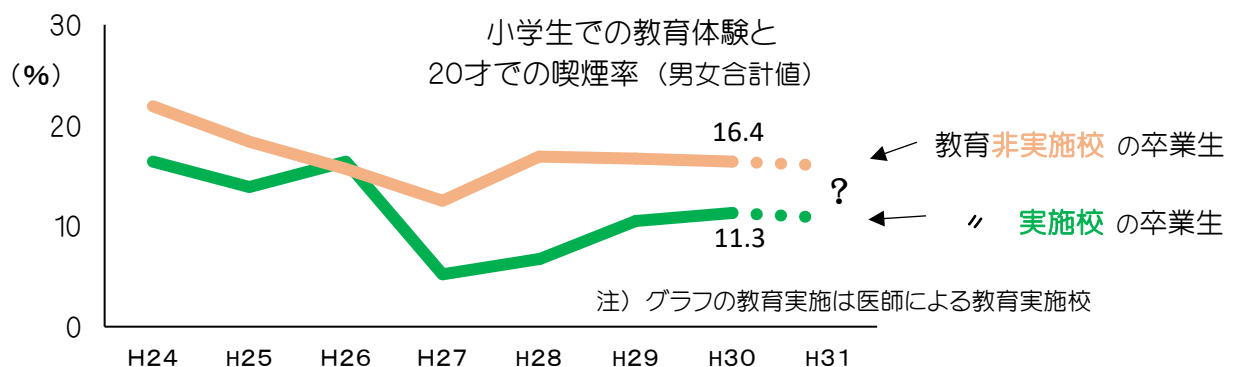
調査には、日本禁煙科学会の高橋裕子理事長が昨年に続いて奈良より遠路参加され、新成人にアンケートへの協力を呼び掛けられました。

又、今回の調査には、大学構内の喫煙問題をテーマに卒業論文に取り組んだ大学生の参加もありました。

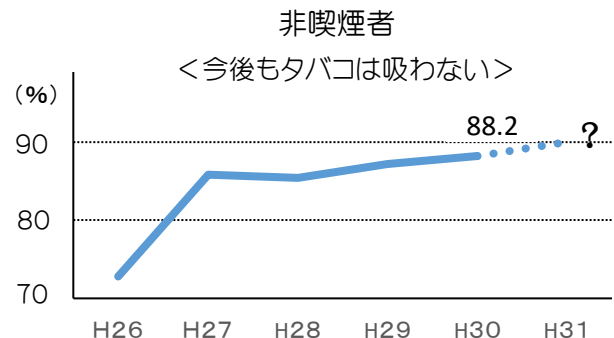
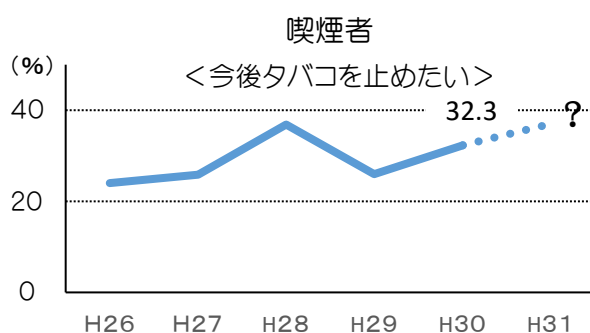


この調査の目的は、成長後の喫煙防止へ向けて小学生から行う教育の有効性を、20才を迎えた新成人を対象に確認、検証すると共に、喫煙の有害性を周知する事にあります。

禁煙ねっと石川が積重ねた調査からは、小学生時での「タバコに対する正しい知識」の教育体験は、成長後の喫煙率の低下に対し確かな効果が確認されています。



金沢市の小学校での教育実施校は年々に増加し、今年度の新成人が小学校6年時の平成22年度は、市内60小学校のうち36校で医師等による教育が実施されており、平成23年度からは市内全ての小学校で「受動喫煙防止教育」として医師や薬剤師等による教育が行われています。



「喫煙対策」は医学的問題のみならず、喫煙を巡る環境の変化も生じ、社会的問題として関心が高まっている今日、新成人の喫煙に対する意識に向けても関心が高まります。

アンケート結果の詳細は次号にて報告します。